

計画策定の背景と目的

20年後の将来を見据えた施策を展開

自転車は手軽に移動できる手段としてあらゆる場面で利用される一方で、自転車を取りまく課題や環境は変化しつつある

- 自転車に関する課題
 - ・ 自転車に関与する事故や歩行者とのトラブル
 - ・ 駅周辺等における放置自転車 など
- 自転車を取りまく環境の変化
 - ・ 健康志向や環境意識の高まり
 - ・ 新しい日常（新型コロナウイルス感染症の拡大）
 - ・ シェアサイクルの普及
 - ・ デジタル技術を活用した電動小型モビリティの登場

自転車の将来性や可能性を踏まえ、将来を見通した**ビジョン**や区民生活の視点に立った**具体的な施策**を示す

計画対象

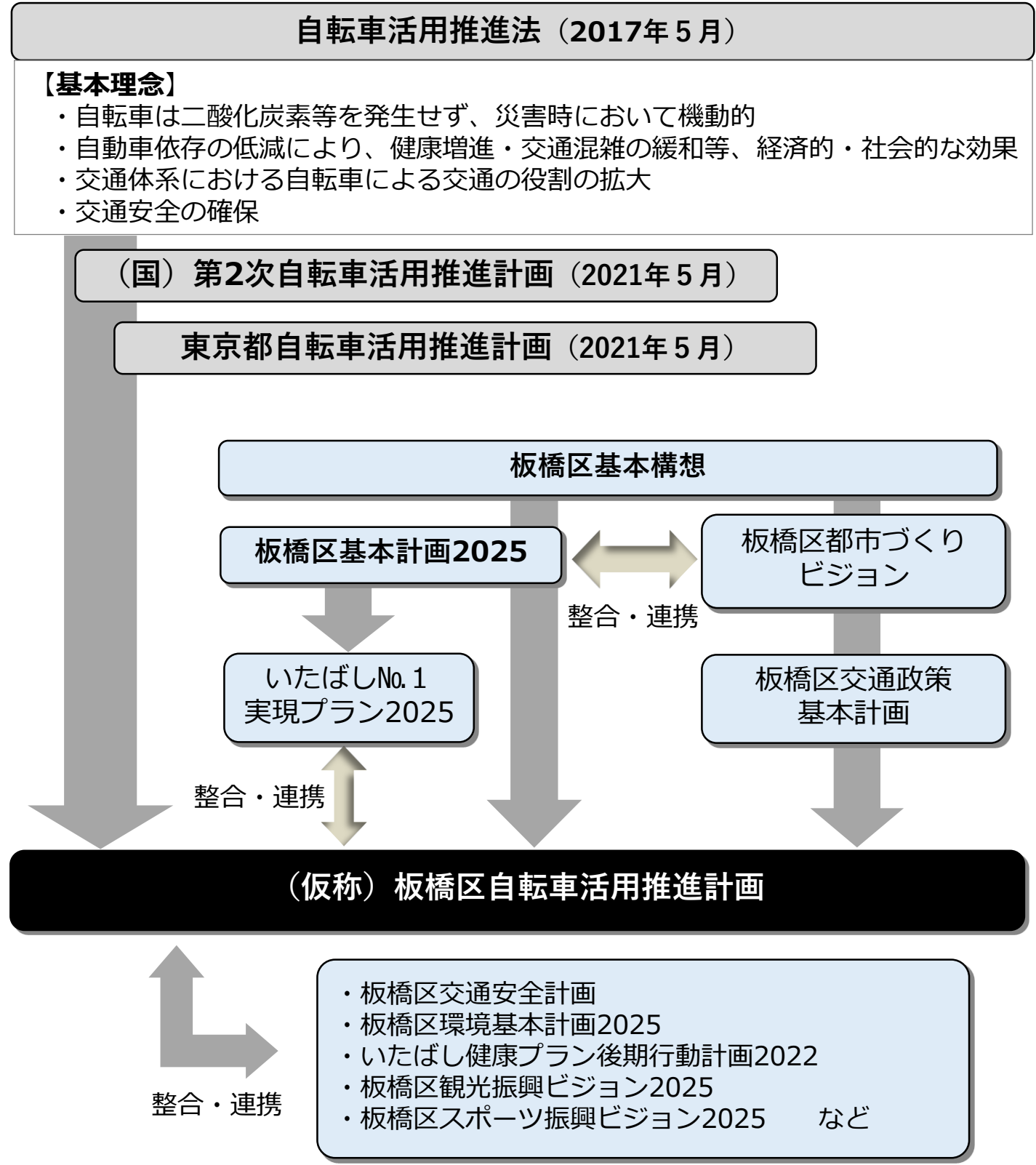
対象区域
板橋区全域を対象とし、自転車の利用実態や移動範囲等を踏まえ、近隣区・市との移動も考慮

対象車両

- ・ 自転車
- ・ 電動アシスト自転車やスポーツタイプの自転車
- ・ 電動小型モビリティ（中速度のもの）

計画対象の全ての車両を総称して「**スマートモビリティ**」と表現

計画の位置づけ



(仮称)板橋区自転車活用推進計画 骨子案 【概要版】

課題と基本方針との関係

課題	
1	■ 自転車の利用環境（自転車ネットワーク） <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車利用者が安全に走行できる通行環境のさらなる整備 ・ 将来の電動小型低速車等の普及を見据えたスマートモビリティ通行空間の確保 ・ 円滑な自転車通行環境の確保に向けた路上駐車車両の削減 ・ 大規模災害時の交通手段としての自転車利用を想定した備え
2	■ 自転車駐車場（駐輪場）と放置自転車 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な移動ニーズを踏まえた鉄道駅周辺以外における駐輪環境の確保 ・ 多様な形式の自転車や地域ニーズなどに応じた駐輪環境の整備
3	■ シェアサイクル <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用状況に応じた適切なポートの配置 ・ 近隣区市への乗り入れを円滑にするための利用環境の向上
4	■ 多様化する自転車 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体能力や用途に合わせたスマートモビリティの活用 ・ スマートモビリティが利用しやすい環境整備と情報の発信
5	■ 運動習慣と外出機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かす機会や外出の機会の創出 ・ 子どもが安全に自転車で遊べる空間の提供
6	■ 自転車運転に関するルール <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代に合わせた自転車の安全利用教育の推進 ・ 万一の事故発生時に備えた賠償責任保険への加入促進 ・ 自転車点検整備の必要性に対する意識の醸成 ・ 点検整備が依頼しやすい環境の整備



基本方針 1		だれもが安心・安全に移動できる
目標①	自転車通勤環境の整備と推進	
目標②	地域ニーズを捉えた自転車駐車空間の確保	
目標③	まちづくりと連動した自転車活用の推進	
目標④	自転車通行空間の計画的な整備	
目標⑤	安全な自転車通行のための路上駐車対策	
基本方針 2		新しい技術によりだれもが快適に出かけられる
目標⑥	シェアサイクル等の普及促進	
目標⑦	利用者のニーズを捉えた安全なスマートモビリティの普及促進	
目標⑧	自転車利用者の利便性向上に向けた情報発信	
目標⑨	スマートモビリティによるお出かけツアーの創設	
目標⑩	新たなモビリティへの挑戦と環境整備	
基本方針 3		未来へつなぐ利用環境を育む
目標⑪	自転車遊び空間の創出	
目標⑫	子どもを育む自転車安全教育の促進	
目標⑬	自転車損害賠償保険への加入促進	
目標⑭	健康づくりのための自転車利用の推進	
目標⑮	予防的な自転車安全利用の啓発	
目標⑯	自転車の点検整備の促進	

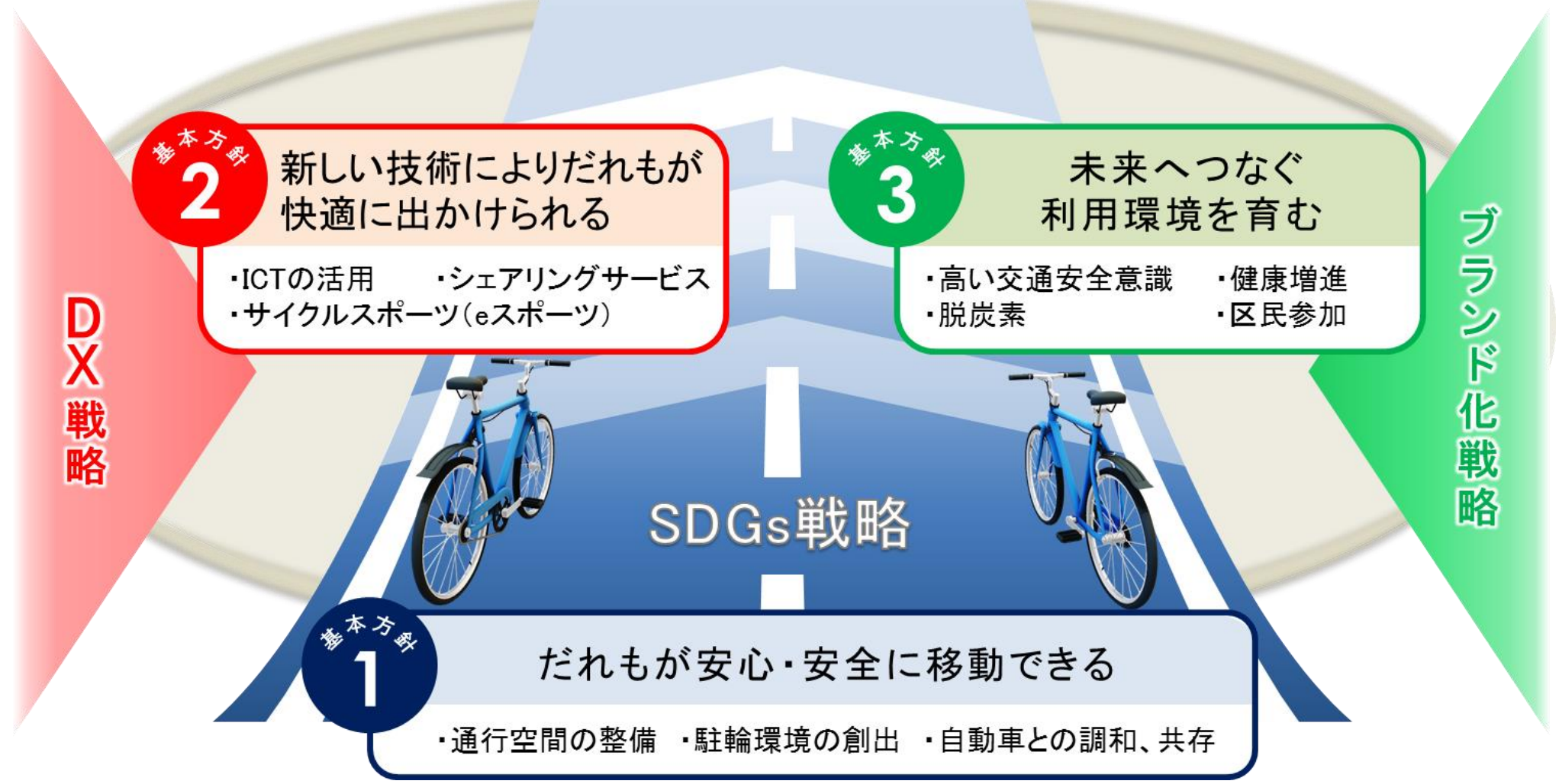
(仮称)板橋区自転車活用推進計画 骨子案【概要版】

基本理念と基本方針

基本理念

安心・安全 スマートなサイクルライフの実現

～スマートモビリティで出かけたくなるまちいたばし～



計画の推進にむけて

- ・本計画の推進にあたり、区民・事業者・行政のそれぞれが基本理念や基本方針等を共有し、役割分担を明確にして主体的に行動することが重要です。
- ・区は、本計画の進捗状況等についてフォローアップ調査を実施し、結果として公表します。また、計画最終年には、フォローアップ結果及び社会情勢の変化等を踏まえて計画の見直しを行い、次期計画を作成します。